様式１

令和５年　４月　１日

令和５年度　学校経営環境分析書

吉浦中学校区　校番　２１　学校名　吉浦小学校

１　学校の内外環境の分析　（太字は中学校区共通の内容）

外部環境	**O**（支援的要因） ①多くの地域住民・地域組織から協力を得ることができ，学校への支援内容も充実している。 ②地域独自の伝統や文化（祭り等）が豊富で，学習素材が多い。 ③交通の便がよく，公共交通機関を利用しやすい。	**S**（強み） ①中学校区が１中学校１小学校で連携しやすく，共通理念に基づいた小中一貫教育を系統的・継続的に進めている。 ②「課題発見・解決学習」の授業づくりを通して，系統的・継続的な学習の取組ができている。 ③明るく元気な児童が多い。 ④縦割り班活動等，異学年交流ができている。 ⑤時間外勤務時間削減についての教職員の意識が高まっている。	内部環境
	T（阻害的要因） ①中学校が離れており，児童生徒の交流が容易ではない。 ②校区が広範囲に渡っている。バス利用の児童は時間に制約がある。 ③地域内に急傾斜地が多いため大雨の際，土砂災害が心配される。 ④校区内の交通量が多く，道幅が狭く坂が多いため，交通事故が心配される。 ⑤保護者の価値観・考え方が多様で，協力が得にくい家庭がある。	**W**（弱み） ①基本的生活習慣が身に付いておらず，社会性が育っていない児童がいる。 ②家庭学習習慣の定着が不十分である。 ③学力調査における正答率 30%未満の児童の固定化，学力の２極化が進んでおり，特別な支援が必要な児童が多くいる。 ④人前で表現することが苦手な児童が多い。 ⑤規範意識が低い児童や自分の感情をコントロールできにくい児童がいる。 ⑥感染症の影響もあり，体力の低下・肥満の増加傾向が見られる。	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

★★★確かな学力
〇小中一貫確かな学力の推進
（1）教科等の本質に迫る「考える授業づくり（めあて，チャレンジ，振り返り）
（2）主体的に学習に向かう選択と決定（チャレンジ）の取組
★★豊かな心
〇小中一貫豊かな心教育の推進
（1）教科横断的なカリキュラム・マネジメントの推進
（2）積極的な生徒指導の推進（計画・開発）

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は

★★★確かな学力
〇効果的な指導方法の工夫
（1）課題設定・発問の工夫
（2）ICT の活用
（3）自己表現する場の設定
★★豊かな心
（1）基本的生活習慣の確立
（2）教育相談の充実
（3）道徳科・特別活動の充実
（4）防災教育の充実
★働き方改革
（1）児童と向き合う時間の確保（会議時間の短縮・行事の精選や実施方法等の改善
（2）長時間勤務の削減

２　重点課題

★★★ 確かな学力（教科等の本質に迫る「考える授業」づくりの充実，学習評価の在り方）
★★　豊かな心（社会性の向上，防災教育の充実）
★　働き方改革の推進（児童生徒と向き合う時間の確保，時間外勤務の削減）